
loveシロップ 上

涙桃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Loveシロップ 上

【コード】

N0519H

【作者名】

涙桃

【あらすじ】

神谷あずは中学二年生。彼氏や、好きな人を作らない・・・それは自分を守るため。好きな人ができてしまったが・・・

第一話（前書き）

この小説は多少自分の経験談もはいつてます

第一話

それはシロップのように甘くて

味が消えない恋なんだ。

あたし達は

シロップの味を知った。あたしは、
中学二年生の神谷 あず。

あずって名前はそんなにないって
よくよく言われる。

あたしは、周りが恋をしてるのに
恋をしない

そう決めたの

もうあんなつらい思いをする事なんて

あたしにはできない事だから。

第一話（後書き）

よんでくれてありがとうございます。ご愛読に感謝です

本話

「うち、飯田くんが好きなノイ&p:#9829」
そう言ったのは親友の鈴加。

鈴加は、かわいいし
好きな人いても、当たり前か。

「ほら。もう、校外学習しよっ
一緒の班だし&p:#9833；飯田君もいるし、下沢くんも
いるよ」

イケメン二人だからかな。
鈴加の顔がうれしそう。

「あずはうれしくないノイ？」
ほかのやつよりか全然いい
と、言ってる。

「たく・・鈴加はこーゆーのに、目がないんだから。
でも鈴加は知ってる。

あたしが恋をしない理由を。

「もうあれから二年なんだからさ。いつまでも、ひきずってないで
ね。だってあずはかわいいから、周りの男子だって狙ってるし。」

ほら、っというように
男子がよってくる。

「神谷さん。アド教えて」
と、三人ほど。

「しつこい、どっか行って」

あたしはふりほどく。

でも、追いかけてきた。

そのときだった。

「こつち」

手を引いたのは誰？
その手は・・・

下沢 春樹

「手」

あたしは、固く握られた
この手を離せ

と言った。

「ん、」

あたしは痛みを感じた。

「わりい。強く握りすぎた」

下沢は、しゃがむ。

「ほら。のれよ」

え、、、

え——————

まって、、、
おんぶ!?

「ありがと・・・でも・・・」「なんだよ、お礼ならなにしてもらお。」

下沢と話したのって

初めてかな。

クラス、去年も一緒だったけど

そんなに意識してなかった・・・

「ねえ」

「なに」

「なんで助けてくれたの」「それはね」

理由

「決まってるんだろ」

「何がよ」

おんぶされたあたしは、下沢の上で問い続けた。

「じゃあ、俺のフルネームと誕生日答えられたら、教えてやる」

生意気だな、とかつくづく思ったりする。

「で、答えてみるよ」

あゝ

なんで助けてくれたのかな

本当に気になった。

あたしは、身を震わせつつ

「下沢・・・春樹？」

あたしはぶつちやけ自信がなかった。
こーゆーの苦手だもん。

「せーかい& amp;#9833」

「で、誕生日は・・・」

どうしよう、そんなの知る訳ないじゃない。
保健室に着いた。

「七月九日」

自分の誕生日を言ってみた。

あー、どうなっても知らない。

「あたり」

「え・・・」「なんでお前が驚くの
だって・・・それは

「あたしもその日なの」

え！？

とあいつも驚く。

そして言う。

「なーんだ、俺の誕生日知ってくれてると思ったのに。」

・・・と言って

あたしをベッドにおいてくれた。

「そんな事やらないからへーキだよ& a m p . # 9 8 2 9 .」
知ってるよ、
あームカツク。

「ふー・・・
なんでさ、あんたそんななの」

彼はあたしの問いに答えた。

「生まれつきってやつだよ」

ますますいや・・・

「じゃあ、理由教えてあげる。」
「去年から
ずっとずっと

神谷の事好きだった
だから助けたの」
「まってまってまってまって

今、

「今、なんと・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0519h/>

loveシロップ 上

2010年12月17日19時13分発行